

予算決算常任委員会

令和5年度予算

暮らし心地の良いまちへ

集中審査

令和5年度の一般会計、特別会計、下水道事業会計を3月15日から20日まで予算決算常任委員会で審査しました。審査の結果は意見を付して、議長に提出しています。町政全般にわたる数多くの質疑の中から、いくつかお知らせします。

※ **意見** は予算決算常任委員会から提出した審査意見です。



及川ひとみ 委員長



身も心もリフレッシュ！



長寿介護課

温泉保養施設

【熊谷 育子委員】

問 燃料費の高騰と利用料に対する影響は。

答 利用料の値上げは。は。予定していない。町民が心身健康増進のため、ワンコインで手軽に温泉を楽しんでいただきたい。



農政課

後継者対策

【北條喜久男委員】

問 令和5年度からの取り組みは。

答 従来の制度に比べ、経営開始後の施設、設備の導入、経営発展の充実が図られる新規就農者育成

意見 総合対策事業補助金制度がある。農業経営体と担い手への支援・育成を強化し、喫緊の課題である後継者対策に努めること。



農業委員会

地域計画作成

【高橋 敬子委員】

問 地域計画作成をどのように進めるか。

答 現状の把握、農家の意向について事前にアンケートをとっている。地域の方々の話し合いを経て、

意見 2年間で地域計画を定める。農地有効利用の推進および耕作放棄地などの解消のため、農業委員会の活動強化すること。





脱炭素に向けてエネルギーチャージ



地球温暖化対策課

脱炭素社会構築

【細川 恵一 委員】

問 令和5年度の取り組みは。

答 脱炭素社会構築検討委員会を設置し、省エネルギー対策、再生可能エネルギーの導入を図って

いく。多様な手法を用いた脱炭素の推進を行っている。

意見 省エネルギー対策・再生可能エネルギーを導入し、脱炭素社会実現に努力すること。



企画課

ふるさと納税

【藤原 修一 委員】

問 寄付を増加させる方策は。

答 令和4年度は寄付を管理する事業者を変更した。4年度から店舗型ふるさと納税を2カ所で開催している。今後、返

礼品目、返礼事業者を増やす。

意見 ふるさと寄付対応事業については、魅力ある返礼品の確保と様々な手法により、必ず目標達成させるために尽力すること。



商工観光課

顧客創出プロモーション

【佐々木純子 委員】

問 酒産業でデジタル技術を活用し、顧客を創出できるか。

答 醸造事業者、関連事業者、消費者など町に関わっていく

方を増やす。社会全体のデジタル化を活用し、酒の町紫波の取り組みに共感していただくファンを獲得していきたい。



消防防災課

非常備消防事業

【阿部 秀一 委員】

問 機能別団員増員や消防団活動の理解を住民に図るために周知をどのようにするか。

答 条例の改正により機能別団員の条件の緩和がされ、報酬の増額もされる。消

防フェスティバル、産業まつりなどで消防体験やチラシ配布を行う。

意見 消防団の処遇改善の検討をさらに継続し、合わせて消防団員の充実・強化に努めること。



子どもたちが消防車を見学体験



土木課

道路修繕

【根水 康博 委員】

問 道路のり面修繕計画の根拠は。

答 国の示された総点検調査要綱に基づき、被害の防止、危険箇所の調査、工法の選定、修繕費用な

どの修繕計画を策定する。

意見 道路や橋梁の安全性・利便性向上のため、計画的な整備に努めること。



整備が待たれる のり面



総務課

技師職員

【藤原 恵子 委員】

問 各課の技師人数は適正か。

答 技師は道路、施設などの建設関係を

中心に配置している。定員の調査では、同規模の自治体で全国と比較しても少

くない。



都市計画課

空家対策

【戸塚 美穂 委員】

問 空家の抜本的解決策は。

答 国のガイドラインをわかりやすくしたパンフレットを新たに作成し、所有者などに周知していく。また所有者不明土地と相続登記の義

務化などは、税務課と連動して対応していく。

意見 空家の適正管理に向け、情報提供の在り方を検証するとともに、危険家屋の解体補助金を新設すること。



学務課

スクールバス運行

【北條 聡 委員】

問 降雨、降雪時に自転車通学生徒も利用できないか。

答 スクールバス利用の通学距離は、児童が2 km以上、生徒

が4 km以上を対象としている。紫波二中では、12月から3月の冬期間は3 km以上

に短くし、特例的にスクールバスを利用している。



安全運転中





赤石公民館で開設中



こども課

こどもの家

【阿部美佳子委員】

問 赤石地区では小
学生が増えている
が、利用希望者に対
応できているか。待
機者は出ていない
か。

答 公営、民営施設

の間で連絡調整を行
っており、4月から
の入所希望者に待機
は発生していない。
意見 こどもの家につ
いては、健康面
に配慮した環境整備
に努めること。



環境課

盛岡・紫波地区環境施設組合

【箱崎 勝之委員】

問 負担金の増額の
内容は。

答 電気料の増、燃
料コークスの単価増
によるものである。

意見 ごみ処理の一部
事務組合が二つ

存続し、負担金が二
重に賦課される。施
設稼働までとその後
における負担額など
を精査のうえ、公表
すること。



国民健康保険事業特別会計

特定健診

【細川 久委員】

問 特定健診の体制
と受診率は。

答 令和5年度は各
公民館での実施と未
受診者への勧奨通知
を考えている。受診
率は、4年11月末現

在で47・7%、3年
の同月より2%増で
ある。
意見 成人病予防に向
けた特定健診の
受診率向上に努める
こと。



下水道事業会計

浸水対策

【浅沼 有朋委員】

問 下河原ポンプ場
の耐水化と、大坪川
分水工の工事計画は。

答 令和5年度の策
定業務の成果により
6年度に実施設計を
行い、7年度から工

事予定である。
意見 雨水管理総合計
画に基づき、安
全・安心な住環境に
向け、浸水対策など
確実な整備に努める
こと。



大坪川分水工の除じん機

